



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社環境フレンドリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 経営企画室 室長 松澤 増満
(TEL. 03-6261-0081)

港湾GXプラットフォーム構築に向けた業務委託契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社および連結子会社である株式会社EFエナジー（以下、「EFエナジー」という。）が、藤木EEM株式会社（本社：神奈川県横浜市中区北仲通二丁目14番地、代表取締役藤木 幸太、以下「藤木EEM」という。）に対し、国産ペロブスカイト太陽光電池および蓄電池を活用した再生可能エネルギー事業の推進に係る業務を藤木EEMに委託する契約（以下、「本契約」という。）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本契約の目的及び理由

近年、カーボンニュートラルの実現に向け、港湾分野においても脱炭素化の取り組み（CNP：カーボンニュートラルポート）が加速しております。国土交通省は、港湾を、脱炭素化に配慮した機能高度化やエネルギー転換の重要拠点として位置付けています。

さらに、経済産業省ではペロブスカイト太陽電池に関し、わが国における量産技術の確立、生産体制整備、サプライチェーン構築、初期需要創出を一体で進めることの重要性が政策的にも明確化されております。

港湾には、物流倉庫、上屋、コンテナヤード等の大規模な施設が集積しており、再生可能エネルギーの導入余地が大きい一方、既存建造物の耐荷重制約等により従来型太陽光発電の導入が困難なケースも多く存在しております。

当社グループはこれまでに、神奈川県真鶴町の港湾近接エリアにおいて、ペロブスカイト太陽電池の実証導入（「海鮮屋AMAYA」施設）を行い、塩害環境下や台風等の厳しい気象条件における設置および運用に関する知見の蓄積を進めてまいりました。当該施設においては、一定期間の運用を通じて電力使用量の削減に関する一定の知見が得られており、沿岸部における実用性および経済性の観点からも一定の有用性が示唆されております。

また、当社グループは、ペロブスカイト太陽電池の社会実装を推進する拠点としてショールームを開設し、技術の可視化および普及促進に取り組んでおります。

これらの取り組みは、我が国におけるエネルギー転換の方向性とも整合するものであり、今後の量産化

フェーズにおいて大規模需要を受け止める市場基盤の形成を先行的に進めるものです。

今後の再生可能エネルギーの普及において重要な役割を果たす技術領域であると認識しております。

本契約は、藤木EEMが有する港湾分野におけるネットワークおよび知見を活用し、港湾施設における再生可能エネルギーとしての国産ペロブスカイト太陽電池の導入プロジェクトの創出および事業化を推進することを目的とするものであり、当社グループにおける港湾エネルギー分野への展開に向けた取り組みであります。

藤木EEMは、港湾運送事業等を展開する藤木企業グループ（港湾運送事業等を中核とする企業グループ）のネットワークを背景に、港湾関連事業における関係者調整およびプロジェクト推進に関する知見を有しており、港湾という多様なステークホルダーが関与する領域での展開に向けた重要な役割を担うパートナーであります。

港湾における再生可能エネルギー導入は、施設管理者、物流事業者、自治体等との調整を要するため、単なる技術や設備にとどまらず、関係者間の合意形成およびプロジェクト組成が成否を左右する特徴を有しております。

当社グループは、同社との連携を通じて、港湾における案件創出を加速させるとともに、参入障壁の高い当該領域における事業基盤の強化および優位性の確保を図り、中長期的な成長機会の拡大につなげてまいります。

また、本契約は、港湾における再生可能エネルギー導入を起点とした事業基盤の確立に向けた取り組みにとどまらず、今後の横展開および事業領域の拡張を見据えた重要な連携であり、当社グループの既存事業の延長として、港湾分野への適用を進めるものであります。

当社グループは、本事業を通じて、発電・蓄電・需要・金融を統合したエネルギー利用モデルの構築を進めてまいります。

その一環として、「港湾GXプラットフォーム」の構築を目指します。

また、ペロブスカイト太陽電池は、量産化の進展が急務であると考えられており、技術進展を待つだけでなく、実装案件を立ち上げる需要準備を先行し、量産化のタイミングに遅れず迅速に対応することで、先行的な市場形成を図ることが重要です。

これにより、個別設備の提供にとどまらないエネルギー利用全体の最適化を図るとともに、継続的な収益機会の創出および事業価値の向上を目指してまいります。

2. 本契約の内容

相手先 藤木EEM株式会社

業務内容 本業務委託においては、主として以下の業務を対象としております。

- ① 事業戦略の設計
- ② プロジェクト形成及び案件創出
- ③ 資金調達及び制度活用支援
- ④ 事業化支援
- ⑤ 政府・自治体・金融機関との連携支援
- ⑥ 製造体制の構築に関する支援（製造パートナーとのアライアンス形成、候補企業の紹介、共同事業会社設立の検討および条件調整等を含む。）
- ⑦ 工場立地および用地に関する調整支援（工場候補地の検討、自治体等との協議、関係者との調整等を含む。）
- ⑧ 国内における生産体制の早期構築に向けた関係者間の調整支援

⑨ 港湾における再生可能エネルギー導入に関する企画立案、関係者調整および事業化支援

契約形態 業務委託契約（非独占）

報酬 月額固定報酬および個別案件に応じた成果報酬

契約期間 3年間（契約期間満了時に協議の上で、契約の更新または内容見直しが可能）

本契約の特徴は、単なる発電事業ではなく、港湾における電力の創出・制御・活用を一体的に設計する点に特徴があります。

具体的には、国産ペロブスカイト太陽電池による発電と、蓄電池を活用した需給調整を組み合わせることで、港湾におけるエネルギー利用の高度化および脱炭素化を推進するものです。

3. 相手先の概要（2026年3月31日現在）

(1) 名 称	藤木EEM株式会社	
(2) 所 在 地	神奈川県横浜市中区北仲通二丁目14番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 藤木 幸太	
(4) 主 な 事 業 内 容	1. 再生可能エネルギー等の発電、販売 2. 再生可能エネルギー等の発電システムの建設、運用及び保守管理 3. 再生可能エネルギー等に関する調査研究 4. 再生可能エネルギー事業等に関するコンサルティング業務	
(5) 資 本 金	2,000万円	
(6) 設 立 年 月 日	2015年4月27日	
(7) 決 算 期	3月31日	
(8) 大株主及び持株比率	藤木 幸太 100.00%（2026年3月31日現在）	
(9) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関 連 当 事 者 へ の 当 該 状 況	該当事項はありません。

※最近3年間の経営成績および財政状態は、相手先の意向により公表を控えております。

4. 日程

(1) 取 締 役 会 決 議 2026年4月14日

(2) 本 契 約 締 結 日 2026年4月14日

5. 今後の見通し

本件による2026年12月期の当社連結業績への影響は軽微であり、現時点では具体的に決定している案件はなく、収益寄与は未確定であります。

本件は当社グループの国産ペロブスカイト太陽電池の量産化・社会実装の進展を見据えた需要創出基盤の整備であり、中長期的な成長戦略の中核を担うものとして位置付けており、港湾を起点としたエネルギーインフラの構築を推進してまいります。

今後の進捗に応じて開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

本件は、当社グループが推進する4つの事業領域を横断的に統合し、港湾を起点とした新たなエネルギーインフラの構築を目指す中核的な取り組みであります。

具体的には、ペロブスカイト太陽電池による発電（グリーンエネルギー事業）を基盤として、蓄電池による需給調整を通じた電力マネジメントの高度化を図るとともに、今後の電力活用領域の拡張を見据えた取り組みを推進してまいります。

さらに、これらの事業を通じて創出されるキャッシュフローを基盤とし、匿名組合出資、クラウドファンディング等を活用した投資スキームの構築（グリーンファイナンス事業）を進めるとともに、港湾インフラや資源循環との連携（グリーンリサイクル事業）を通じて、持続可能な循環型事業モデルの確立を図ります。

さらに、発電・蓄電・需要・金融を一体化した「エネルギーと資本の循環モデル」を構築し、各事業領域を有機的に結びつけることで、従来の一事業では実現し得なかった収益構造の高度化および持続的な成長の実現を可能とするものと考えております。

本件においては、横浜港をモデルケースとしてプロジェクト形成を進め、全国の港湾においても同様の導入可能性が考えられますが、具体的な導入規模については現時点で精査中であり、今後の検討・協議の進展に応じて判断してまいります。

さらに、本件は、港湾における脱炭素化の推進に加え、災害時のエネルギー供給や地域レジリエンスの強化等、自治体が抱える課題への対応にも資する可能性があるものと考えております。

今後は、自治体や関係機関との連携を通じた事業機会の創出についても検討してまいります。

以 上